

令和4年度 施策レビュー(二次レビュー) 改善提案への対応状況

1 基本情報

施策名	5-2-2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進		
実施日／グループ	令和4年7月30日(土) グループ②	施策担当部	福祉保健部
作成日	令和5年2月15日	記入責任者	福祉保健部長 柴田 みどり

2 施策の対応状況

(1)(二次レビュー以前)施策の実現に向けた課題認識、対応の方向

<課題認識>

- ① 高血圧症をはじめとした生活習慣病予防には、若いうちから良好な生活習慣を実践していく必要があるが、こうした世代においては、自身の健康に対して無関心な傾向にある。
- ② 国保ドックや国保特定健診等の受診率は、国の目標値と比較して低調な状況が続いており、新型コロナウイルス感染症の影響により、さらに受診率が低下している。
- ③ 糖尿病性腎症のハイリスク者において、必要な治療を受けていない人が存在している。

<対応の方向>

- ① 若い世代に対する健康への意識付けを行うため、SNS等を活用し、食生活、身体活動・運動、健診など、生活習慣改善の実践につなげるための情報発信を強化する。
- ② 市民病院等の専門医療機関や、市民団体等と連携し、高血圧症患者が多い地域での予防プログラムを実施しており、今後も継続の予定である。
- ③ 未受診勧奨事業においては、レセプト情報や健診の受診歴、健診結果のデータ分析を行った上でグループに分類し、それぞれのグループの未受診者に対して受診への後押しとなるようなメッセージを添えて受診勧奨を行っている。
- ④ 前年度、特定健康診査結果で重症化リスクが高い医療機関未受診者等や、治療中断者への受診勧奨を行っている。

(2)二次レビューでいただいた主な指摘事項、改善提案等

- ① 高血圧の原因についてしっかり説明できることが重要である。課題への落とし込みをもう少しチームで展開してもいいのではないか。
- ② 市の高血圧患者数が多いという事実のインパクトが大きい分、施策として取り挙げることは大事であるが、数字の根拠やデータの取り方、高血圧者数が多い原因の検証することが必要。
- ③ 腎症重症化予防、特に治療中断者への対応は医療機関との連携が重要だと思う。データ毎の分析も必要だと思うが、他のデータなども含め総合的に分析することも必要か

と思う。減塩モニターなどの政策が、全体のアウトカムや課題設定が不明確である。

(3)外部からの改善提案等を踏まえて検討した見直し事項

- ① 昨年度から取り組んでいる高血圧症予防プログラムにおいて、参加者への生活習慣改善のフォローアップを通じ、本市の傾向等を考察する。
- ② 減塩モニターについては、参加者に対するフィードバックだけでなく、より効果のある生活習慣改善等のための広報・啓発資料として活用しており、今後もより多くのデータ収集に資することを目的に継続して実施する。
- ③ 子どもや若い世代においては、高血圧症等の生活習慣病に関する関心が薄く浸透し難いことから、別のアプローチで予防啓発を行っていくことを基本に、関連する「アクティブシティ推進事業」で、スポーツやウォーキング等の普及事業を通じ、年代に応じた取組みを進める。
- ④ 治療中断者へは、本人のアンケートや医療機関受診勧奨の文書とともに、医療機関へ提出してもらった連絡文書も併せて送付している。医療機関受診があった場合は、受診結果の返送により対象者の身体状況について把握している。
- ⑤ 治療中断者の内科系の医療機関受診データだけでなく、他科受診データを確認することで、対象者の全体的な身体状態の把握に努めていく。

(4)予算要求、査定結果を踏まえて、次年度に向けた課題の捉え方、改善点、取組の方向性等

- ① 引き続き、市民病院等の専門医療機関や、市民団体等と連携し、高血圧症予防プログラムの実施を通じて、生活習慣改善のサポートやフォローアップを行う。
- ② オリジナルアプリ「福知山 KENPOS」の運用で得られたデータ（血圧関係、アンケート等）を、今後の事業をより有効にするための基礎資料として活用する。
- ③ より幅広い年代に、より効果的に働きかけるため、同アプリや SNS 等を活用し、生活習慣改善の実践につなげるための情報発信を強化する。
- ④ 特定健診未受診者への勧奨通知発送や電話勧奨と並行して、特定健診を受診していない被保険者の受診しない理由を探り、それを基に受診へとつながる取組みを検討し、受診率向上へとつながる策を検討していく。
- ⑤ 治療中断者の、内科系以外の医療機関受診データから全身の健康状態を把握することで、現在の状況における必要な処置を具体的に示し、医療機関受診へとつながることができるように取組みを進める。

3 改善提案等を踏まえた主な事業の対応状況

(1)高血圧制圧のまちプロジェクト事業

- ① 市民病院をはじめ、関係団体と協働しながら、高血圧予防プログラムの全市展開を図る
- ② 「福知山 KENPOS」を活用した、高血圧に関する本市の傾向や課題等を考察するための

データ収集やアンケート調査等を検討する。

- ③ 京都府と協働した減塩キャンペーン/減塩給食/子ども向け講座については、継続実施する。

(2)特定健康診査等事業

- ① 特定健診未受診者への勧奨通知の発送、電話勧奨をとおして受診率向上を図る。
- ② 病院受診履歴がなく、また特定健診を受診した履歴もない被保険者等を対象としたアンケート実施の中で、健(検)診を受診しない具体的な原因を把握し、受診へと促すことができるような策を検討し、実施していく。

(3)糖尿病腎症重症化予防事業

- ① 重症化への抑止力を持たせるために、糖尿病腎症が重症化したときの具体的な状況を示し被保険者の意識の改善と、受診行動へつながるように取り組む。
- ② 保健所や医師会、また保健師、栄養士など各関係部署や機関との連携や、糖尿病重症化予防戦略会議における意見を聞き、重症化予防の取組みを進めていく。